

兵高教組

2022年7月14日

調査情報 4号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL: 078-341-6745 FAX: 078-351-3185

URL: <http://www.hyogo-kokyoso.com>mail: honbu@hyogo-kokyoso.com

校務支援システムに障害相次ぐ

成績処理も滞り…どこが校務「支援」なのか！ 怒りの声

県下の大多数の学校で7月11日(月)から13日(水)にかけて「校務支援システム」が断続的に使えなくなる大規模な障害が起きました。アクセス集中が原因とのことですが、本来、名前の通り校務を「支援」するためのシステムが毎学期このようなトラブルを起こすようでは、円滑な教育活動や学校運営が出来ません。

高教組はこの問題に対し、県教委の関係各部署に問い合わせを行い、改善を申し入れました。

◎「成績処理が出来ない」と各地で悲鳴

学期末の成績処理のために校務支援システムを立ち上げようとしても起動できない…との情報が11日から全県から続々と高教組本部に寄せられました。

12日に学校業務を管理する県教委の高校教育課に問い合わせたところ、全県的な問題が発生していることを把握出来ておらず、その場で原因の把握と適切な対応を講じるよう申し入れを行いました。

その後、各職場に対応のための通知が届きましたが、13日になっても変わらず接続の不安定な状態が続き、多くの学校で校務が滞る事態が発生しました。

そもそも、全職員が円滑に作業できない脆弱なICT環境であることが今回の問題の本質です。また、システム障害のために一部の教職員への負担が増すような環境でどのように「働き方改革」を進めていくのでしょうか。本来、校務を「支援」し、教職員の過重労働を軽減するために導入したはずのシステムでこのような全県的な問題が起こること自体、充分な環境なしに拙速にシステムを導入したことの証左であり、見通しが甘かったと言わざるをえません。

◎アクセスできない！なぜ…

今回の障害について県教委の教育企画課に問い合わせたところ、その原因が分かってきました。

今年度より、県下全ての特別支援学校やその他の学校にも校務支援システムが導入されたり、新一年生の観点別評価の入力欄が追加されたりしたこと、また12日の雨によって球技大会などの学校行事が無くなり、職員室で事務作業をする教職員が増えたこと、サーバーが5年前のもので、ここ数年で激変したICT環境に充分対応できていないことなどが挙げられます。

昨年度も同じ時期に一時システムが使えない状態になった反省から、今年度はその対策としてライセンスサーバーを増やし、前週の8日にはメールで全職場に「成績入力を終えたPCについては、仮想デスクトップへの接続を切る」「出来るだけ少ない台数で成績入力を行う」という2点のことについて「『可能な範囲で』

『ご協力』いただきますよう、よろしく申し上げます」と通知を出しましたが、本来であれば、全教職員が一斉に使用しても耐えうるシステムにすべきだったのではないのでしょうか。また、勤務時間中だけではなく勤務時間外にも多大な混乱とストレスを与えた今回の件について、県教委は教職員一人ひとりに対して謝罪すべきです。

◎システムが原因で超過勤務になった場合は「割り振り」を認める

県下でも多くの職場で、勤務時間内の入力を諦めて日付けが変わるまで残ったり、早朝から入力作業をこなしたりした教職員や、時間外労働や勤務日以外の出勤を強いられた時間講師も多数います。

そのような今回の状況に対して、県教委の教職員企画課に超過勤務になった場合の対応をただしたところ、「勤務時間を超えての入力作業になった場合は実態に応じて割り振りの対象になる」と回答しました。

今回の件で超過勤務をせざるを得なかった方は、職場の管理職に勤務の割り振りを行えるよう確認しましょう。何か問題があれば高教組までご連絡ください。

◎システムで働き方が本当に良くなるのか

学期末が来るたびにシステムが動かない、動作が遅く仕事にならない、などの話は導入後、たびたび聞かれていた問題です。また、校務支援システムだけではなく、出退勤把握などを行うサービスシステムについても使い勝手の悪さや様々な不具合も放置されたままです。県教委は、システムを導入してからの改善をその都度考えていけば良いと考えているのかもしれませんが、日々現場で奮闘している教職員との非常に大きな温度差を感じずにはられません。

システムによって拘束時間が長くなったり、システムによって労働条件が悪化したりするのでは本末転倒です。システムを中心に考えるのではなく、現場で働く教職員に寄り添った働きやすい職場環境を求めて、高教組はこれからも活動していきます。

現場で困っているあなたを助きたい。高教組へぜひ！